

NPO JAVCOM No.133 セミナー

テレビ放送はどこへ行く?!

~テレビ的メディアとの拮抗は~



日時: 2012 年 3 月 8 日 (木)

場所: 日本アイ・ピー・エム株式会社 (箱崎)
本社 301 セミナールーム

主催: NPO 日本ビデオコミュニケーション協会

後援: (社)映像情報メディア学会

(社)日本映画テレビ技術協会

(公社)映像文化製作者連盟

(社)日本映像ソフト協会

(社)全日本テレビ番組製作社連盟

(社)日本ポストプロダクション協会

(社)日本アド・コンテンツ制作社連盟

ジャパン データ ストレージ フォーラム

(社)日本映画製作者連盟

※順不同

特別協力: 日本アイ・ピー・エム株式会社



開催の挨拶
金丸 理事長



司会
(株)アイティアアクセス
福田 美穂氏

テレビ放送が誕生して 60 年・常勝のテレビはメディアの王道を走り続けてきたが、世界的な不況のなか、俄かに迷走が始まっている。そこに、テレビ放送でもない通信でもないテレビ放送と似て非なるメディアたちが台頭してきた。

テレビ放送と共に歩んできたテレビ制作者は、この現象をどのように分析するか…

K2 Edge：リナックス OS を採用し、ソフトウェアベースでマルチプラットフォームに対応した総合型送出システム。高度なグラフィックスも扱え、新しい K2 Edge Integrated Playout System によっての送出を行える。

K2 Summit 3G：プロダクションクライアント送出サーバーで、主要な放送用フォーマット対応に加え、EDIUS をはじめとしたノンリニア編集システムとの親和性に優れている。新世代のコーデックモジュールを搭載し、新たに H.264 の送出にも対応。また、プロキシの同時生成、プレビュー用のライブストリーミング機能も備えている。
EDIUS 6.5：ノンリニアビデオ編集ソフトウェアで、幅広いファイルフォーマット対応もバージョン 6.5 では、3D 編集機能をサポートし、ラウドネスメーター、イメージスタビライザー、クローズドキャプション/オーディオビットストリームパススルーなどの新機能が搭載。また、RED カメラや一眼レフカメラの RAW ファイル対応も追加。

Trinix NXT：単一フレームで 512x1024 の大型ルーティングスイッチャー統合型マルチビューワで、Trinix NXT ルーティングスイッチャーに完全に統合されたマルチビューワで 3G-SDI まで対応。マルチ画面出力をボードあたり 8 系統備え、1 系統あたり最大 32 画面構成が可能。

LDK シリーズ：フルラインアップの放送用ライブプロダクションカメラで、3G 伝送システムの追加により、新次元のトライアキシャルおよび光ハイブリッドカメラケーブルシステムを実現し、長距離伝送にも対応。

Karrera：中型プロダクションスイッチャーで、上位機種 Kayenne の機能を継承し、コンパクトな 2M/E および 3M/E コントロールパネルが新開発されている。またタッチスクリーン PC 上で動作する 1M/E ソフトパネルもあり、複数のスタジオで M/E やエフェクトなどのリソースを同時に操作可能なリソースシェアリングにも標準対応。



みなさんよろしく!! 新入会員からのメッセージ

柴田 賀昭 (個人会員)

メタフロンティア合同会社 (代表兼チーフコンサルタント)

住所 / 〒 221-0822

横浜市神奈川区西神奈川 1-13-12 アーバンビル 6F

電話 / 090-8087-4932

URL / <http://www.metafrontier.jp>

主な業務：

映像メディアとメタデータの技術コンサルティング

メッセージ：

JAVCOM 会員の皆様、いつもお世話になっております。

今年の新春セミナー講師を務めさせていただいたのがご縁に JAVCOM へ入会させていただきました。メタフロンティア合同会社の柴田賀昭 (しばた よしあき) と申します。前職はソニーにて業務用映像機器の開発、特に XDCAM の MXF やメタデータ関連の開発に従事しておりました。ところが欧米のみならず国内でもファイルベース運用に向けた本格的な取り組みが始まるに従い、自らの技術ノウハウや人的ネットワークを更に活用して広く業界に直接貢献をしたいと考え、2010 年末に思い切って独立した次第です。

ファイルベース運用の導入においては IT 技術の適切な理解が重要となります。しかし、これらは従来の技術の延長上にあるものではなく、それ故に戸惑いをお感じの会員の皆様も多いのではないのでしょうか。私どもはこのような状況をかんがみ、MXF やメタデータといったファイルベース運用の要素技術の適切な理解促進に務めてまいりたいと考えています。

また先の新春セミナーでも報告させていただきました



柴田 賀昭

が、私どもの自主企画として、SMPTE での UMID 応用の標準化に取り組んでおります。特にファイルベース分野においては、ソニーやパナソニックといった業界のメジャープレーヤーが各々の製品での出力形式を定めるべく MXF 関連の標準化活動に取り組んだ例は散見されますが、それ以外での日本から貢献は皆無と言っても過言ではありません。そこで今回、私どもが UMID 応用の標準化活動を SMPTE に仕掛けることで、このような状況に一石を投じ、ワールドワイドな業界における日本のプレゼンス向上に努めたいと考えています。

つきましては、もしこのような活動にご興味を持っていただけましたら、どうぞお気軽にお声掛けをいただけますとありがたく存じます。

では JAVCOM 会員の皆様、引き続きのご指導を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

